


広島IN TOWN WALK

取組開始時期	2021年4月24日	取組の カテゴリー	①地域活性化	応募部門 (○を付ける)	PF会員間連携部門	○	一般部門
1. 団体名	リアルワールドゲームス株式会社	2. 連携先の 団体	◎広島県広島市、広島市中央部商店街振興組合連合会、◎サンフレッチェ広島F.C、ひろしまフラワーフェスティバル実行委員会				
3. 取組 目的	コロナ禍でダメージを受けたマチナカを歩くDXで活性化			4. 関連する ゴール			

5. 取組経緯

地方創生SDGs官民連携プラットフォームのメンバーである広島市が抱えているまちの回遊性が低いという課題を知り、弊社のウォーキングアプリを解決策として提案し、業務提携を締結した。

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

「位置情報」を活用することで、三密回避をしながら、広島マチナカの魅力をイベント参加者に知ってもらうことに加え、街の新たな魅力を創出した。

画像（会員投票の際のサムネイル）



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

- ・市民がウォーキングゲームを楽しみながら歩いて健康になる。
- ・マチナカの活性化を図り、商店街の振興につながる。
- ・街歩きを通じて、まちの新しい魅力を発見し、QOLが上がる。
- ・DXを通じてコストの削減を実現し、エコな活動である。

ステークホルダーとの連携

広島市、中振連、サンフレッチェ広島、ひろしまフラワーフェスティバルと連携した結果、イベントのコンテンツが増え、多くの健康無関心層も今回のウォーキングゲームを楽しむことができ、そして歩いて健康になった。

モデル性・波及性

- ・イベントのDX化を通じて、運営費用を削減すると共に、いつでもどこでも楽しめるイベントへ転換する意味でモデル性がある。
- ・開催期間が僅か2週間にもかかわらず、延べ2590人が参加し3896万円（15,042円/人※）の経済効果を実現し、マチナカの活性化を図ることに成功した。

※出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査 2021年1-3月期」<https://www.mlit.go.jp/common/001404768.pdf>

7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

成果①：シビックテック（市民の力）で集めたスポット20万件



～ シビックテック（市民の力）で集めたスポット20万件 ～
 バンダイナムコのファンが「日常を冒険に」「街の再発見」への参加で
 日本全国の地域資源の発掘が更に充実！

※広島市でも、市民の方に沢山のスポットデータを集めて頂いています。

confidential

成果②：パートナーシップでSDGsを達成

パートナーシップでSDGsを達成

「チーム×人×街を歩くで繋ぐ」 延べ2590人参加



confidential

今後の方向性：歩くDXをより広い範囲で運用

例①：歩くDXで他の地域の回遊性課題を解決



街を活気づけようと 商店街でサンフレとコラボのDXイベント
 広島

例②：広島市民に「健康・防災・観光」を一体的に提供

サービス内容 ～「健康・防災・観光」一体提供～

・3D地図基盤を活用してヒト・モノ・コトを可視化して繋ぐ



3D地図エンジン
 「TERRA」

- 健康**
 - ・楽しく歩くをサポート歩くモチベーションを上げる
- 防災**
 - ・歩くことで人々の脳内マップを充実させ迅速な避難を実現
 - ・災害時は避難アプリ迅速な情報共有
- 観光**
 - ・観光資源をデジタル化した新たな楽しい体験を創出
 - ・非対面・非接触イベントの運営をサポート

confidential

confidential